町民意見公募手続実施結果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 案件名 | 北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備計画（素案）について | 提出意見に対する担当部局等の検討経過 |
| 担当部局 | 政策推進課 | 担当部局検討結果(案)の作成 | 令和７年３月３日～令和７年３月３日 |
| 意見募集期間 | 令和７年２月１日～令和７年３月２日 | 関係部局検討結果(案)の協議 | 令和７年３月３日 |
| 公表年月日 | 令和７年３月　　日 | ※関　係　部　局 |  |
| 意見提出者数 | ２名４件 | 町長決裁にて検討結果の決定 | 令和７年３月４日 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 町民意見の内容 | 回答内容(八雲町の考え方等) | 意見反映の状況 |
| １２３４ | 「新八雲（仮称）駅周辺土地利用ゾーニング案」について「ペコちゃん牧場ゾーン」の特定企業を象徴する「ペコちゃん人形」は不要。牧場も不要。理由：駅周辺整備のコンセプトに反し、自由競争業界の障害になり、八雲町のイメージダウンになる。牛を放牧しての牧場維持は、牛の逃走あるし、牛舎も必要となり、手間暇かかり、維持管理が困難だ。従来のように、デントコーン畑を維持した酪農経営をこそ見てもらうのを、八雲の売りにするのがよい。その結果、オオハクチョウを間近で見ることができる。（←鳥インフル時は飛来防止対策すればよい）「観光交流生産ゾーン」には建造物は建てない。理由：駅周辺整備のコンセプトに反するので、人口の建造物は建てない。都会人の安らぎはごく普通の自然だ。八雲町の生産拠点へ導入することをこそ目的にした方が、町の振興策となる。なお、ゾーンに、八雲町で見られる樹木草本を旭川の「北方野草園」風に展示してはどうか。カタクリ、シラネアオイ、マタタビ、サルナシ、ヤマブドウなど四季折々に楽しめる植物を植える。さらに、天然食材のウド、ワラビ、ヤブカンゾウなど、山菜やキノコなども植える。「広域緑地ゾーン」は音名川にサケを上らせ、間近でサケが見られる公園にしたらどうか。理由：自然の川に上るサケは、観光の目玉になる。幸いに、音名川はサケが上る川なので、利用価値がある。新幹線開通時にサケが見られるよう、今から、音名川にサケの卵の埋没放流や稚魚放流を手がける。新八雲（仮称）駅裏の小川を音名川へ向けて、蛇行させ、途中にいくつか池をつくり、散策路を設ける。音名川の河畔林にオニクルミやドロノキを混生させれば、間近にオオワシ・オジロワシが見られるようになる。音名川にサケが上るようになれば、道路沿いに屋台を並べてのサケ祭りもいいかも。小中高の自然体験や環境学習の場になるように、うまく、自然を活かして、活用できるようにする。シシャモやキュウリウオの復活も取り入れる。ペコちゃん牧場ゾーン特定の企業の宣伝になるのでやめた方が良いと思います。わざわざ土地を買い取って牧草地にするよりも、そのままデントコーン畑にしておくのも牧歌的風景を感じられるのではないでしょうか。余計な整備費もかけなくて済むので経済的だと思います。 | いただいた御意見は今後の具体的な整備検討の際、参考とさせていただきます。いただいた御意見は今後の具体的な整備検討の際、参考とさせていただきます。広場・緑地ゾーンについては、将来的に整備を検討することとしておりますが、いただいた御意見は今後の施策の参考とさせていただきます。いただいた御意見は今後の具体的な整備検討の際、参考とさせていただきます。 | ＤＤＤＤ |

○意見反映状況の表記

Ａ：意見に基づき案件に反映(修正)するもの　Ｂ：意見が既に反映されているもの　Ｃ：意見を案件に反映しないもの

Ｄ：今後の参考とするもの　Ｅ：その他(内容についての質問、感想、要望等)